



# 年度 教育・保育者の自己評価

【参考例Ⅰ】

【記入方法】 各項目の総合評価（A、B、C、D）の欄に○をつけてください。

A…理解して十分に取り組んでいる      C…理解が不足し十分に取り組んでいない  
 B…概ね取り組んでいる                      D…取り組めていない


		A	B	C	D
I 教育・保育計画	教育課程・全体的な計画等の作成に参画し、子どもの発達過程を理解し、人間形成の基礎を養う時期であることを十分に認識して保育実践に取り組んでいる				
	指導計画を作成するにあたっては、一人一人の子どもの発達過程や状況、クラスの実態について、職員間の共通認識のもとに作成されている				
	 配慮して取り組んでいること、課題と感じていること				
II 子どものかわり	子どもの人権に配慮した対応をしている				
	子どもに対して尊重の気持ちを表している（子どもを公平に扱う・差別をしない・話を真摯に聞く・子どもの望みを理解し叶えようとする・大きな声で呼んだり必要のない言葉をかけたりしない・子どもが目線、表情、言葉で訴えている時に的確に対応している等）				
	保育者の言動は子どもに大きな影響を与えることを常に意識している				
	子どもの良さを積極的に見つけ、子どもとのやりとりが肯定的である				
	朝の受け入れ時や連絡帳で子どもの健康状態を日々確認している				
	一人一人の思いを受け止め、共感したり認めたりしながら、信頼関係を築いている				
	子ども同士が互いの気持ちや発言を受け入れられるように援助している				
	 配慮して取り組んでいること、課題と感じていること				



記入日                      年                      月                      日

		A	B	C	D
指導計画の展開	指導計画、園運営に関する記録、子どもに関する個人記録等（保育日誌・指導要録・児童票・園日誌・保健日誌等）があり、子どもの成長や日々の活動、保育の振り返りを記録している				
	記録を踏まえて、指導計画に基づく教育・保育を見直し、改善を図っている				
	一人一人の子どもの発達状況、期や月の目標、教育・保育の実態について職員間で定期的に話し合っている				
教育・保育の連続性	施設の自己評価や保育者の自己評価等、日々の教育・保育を定期的に振り返る機会を設けている				
	小規模保育、家庭的保育等から幼稚園や保育園等への進級にあたって、丁寧な相互連携がとれている				
	就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料（幼稚園幼児指導要録・幼保連携型認定こども園園児指導要録・保育所児童保育要録）を確実に送付している				
	幼児教育を行う施設として「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識して子どもの様子を小学校に伝え、同じ視点で子どもの育ちを共有している				

 参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P18～21

 気づいたことをメモしておこう！




# 保育を振り返ってみよう!

## ～保育の環境編 1～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない  
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

		A	B	C	D
安心、安全な環境	施設内（保育室・トイレ等）の清掃が行き届いており、玩具等は年齢に応じて適切な消毒が行われている				
	手洗い場・机・椅子等は、子どもの体に合った大きさを調えている				
	施設内外にかかわらず、死角を作らないよう配慮している				
	月齢や発達に配慮した乳児専用の空間が設けられている等、乳児が安心して生活を送るための配慮をしている				
	保育室は整理整頓され、雑然としていない				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P22～24

 気づいたことをメモしておこう!



# 保育を振り返ってみよう!

## ～子育て支援編～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない  
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日		年	月	日	A	B	C	D
保護者	入園前に施設の設備、環境、教育・保育の状況を見学するように勧めている							
	保護者と保育者の間で連絡帳や登降園時に子どもに関する情報の共有をしている							
	保護者が意見や相談ができる体制がある							
	保護者からの意見や苦情等を真摯に受け止め、教育・保育の意図、改善を保護者に伝えている							
	個々の家庭の状況を把握し、職員間で共有している							
	特別なニーズを有する家庭の支援をしている							
	保護者会や行事等で保護者同士が話し合える場や協同で取り組む活動を提供し、保護者間の連携を支援している							
地域	第三者評価、利用者アンケートに取り組み、その結果を保護者に伝え、教育・保育の改善に活かしている							
	区や地域で行われている子育て支援施策を理解し、必要とする家庭を関係機関につなげている							
	地域の小中高生が乳幼児とふれあう機会を設けている							
未通園児家庭	様々な経験、知識をもっている地域の方々の力を借り、子どもに色々な体験ができるようにしている							
	地域の子育て家庭に向けて施設や園庭を開放している							
	地域の子育て家庭を施設で行う行事等に招待している							
	地域の子育て相談（発達・健康・入園等に関する相談）をしている							
	施設が実施している子育て支援事業の情報を積極的に発信している							

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P56

# 保育を振り返ってみよう！ ～外国籍の子どもの支援～

A…理解して十分に取り組んでいる    C…理解が不足し十分に取り組んでいない  
B…概ね取り組んでいる                  D…取り組めていない

記入日	年	月	日	A	B	C	D
子ども理解	子どもの育ってきた環境を考慮している						
	子どもの表情や行動から、何を伝えたいのか理解しようとしている						
環境及び関わり方	持ち物の場所等は、わかりやすく実物や写真等を掲示している						
	子どもがわかる単語を使い、なるべく短くはっきりと話すようにしている						
保護者支援	園からのおたよりや連絡帳は、ひらがなやローマ字で書く等の配慮をしている						
	子どもが園生活を楽しんでいる様子を写真やビデオを使って知らせている						
	母国語を大事に思っている保護者の気持ちに寄り添っている						

**参考** → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P55

気づいたことをメモしておこう！



記入日                  年                  月                  日

	A	B	C	D
人的環境	子どもの人権に配慮した対応をしている			
	子どもに対して尊重の気持ちを表している（子どもを公平に扱う・差別をしない・話を真摯に聞く・子どもの望みを理解し叶えようとする・大きな声で呼んだり必要のない言葉をかけたりしない・子どもが目線、表情、言葉で訴えている時に的確に対応している等）			
	特定の保育者が、子どもの発する欲求に応答的に（タイミングよく）かかわるように努めている（0・1・2歳）			
	子どもにとって特定の保育者が安心出来る存在になっている（0・1・2歳）			
	子どもの言葉にならないしぐさや表情を見逃さないようにしている			
	子どもの良さを積極的に見つけ、子どもとのやりとりが肯定的である			
	保育者の一方的な思いやルールで子どもに関わっていない			
	子どもと一緒に体を動かして遊びを楽しんでいる			
	園庭や近隣公園等での活動を通して、のびのびと体を動かす楽しさを感じられるようにしている			
	散歩等の活動を通して、自然物との関わりや季節の変化への気付きにつながる取り組みをしている			

**参考** → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P22～24



# 保育を振り返ってみよう！

## ～保育の環境編 2～



A…理解して十分に取り組んでいる    C…理解が不足し十分に取り組んでいない  
 B…概ね取り組んでいる    D…取り組めていない

記入日	年	月	日	A	B	C	D
物的環境	はいはいやつたい歩きが存分にできる安全な空間がある（0・1歳）						
	一人一人の成長発達を考慮した遊びを準備している						
	子どもの興味・関心に合わせて好きな遊びができるようにしている						
	友だちと好きな遊びができたり、一人でじっくりと遊びを楽しんだりできる空間を設定している						
	保育室の広さや間取りを考慮してコーナーを設定している						
	子どもが自ら遊びだせるように、子ども自身が選び手に取れる場所に、適切な量で成長に合わせた玩具や絵本を用意している						
	玩具や教材は、子どもが見てわかり、自分で無理なく戻せる環境になっている						
	保育室の装飾、飼育生物、菜園、プランターの植物等、季節感を取り入れる工夫や、自然と関わることができる取り組みをしている						
教材や道具（製作に必要なもの・楽器・運動に必要なもの等）が使いやすいように整理され、多様な表現活動が継続して経験できるように配慮している							

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P22～24

記入日	年	月	日	A	B	C	D
集団の一員としての関わり	子どもの不安を軽減し集団への参加につなげられるように、行動の始まりと終わりを知らせている						
	言葉で知らせる時には「○○ちゃんの次ね」「時計の長い針が3になったら片付けようね」等、具体的に視覚で理解できるように知らせている						
	相手の思いに気付くことが苦手な子どもには「○○したらお友達はどう思う？」ではなく「○○するとお友達はイヤだから△△しようね」等のように、具体的に取るべき行動を知らせている						
	視覚的に刺激が少ない環境や、マークやラベル等で片付ける場所がわかりやすくなっている等、子どもの特性に適した環境構成をしている						
	保護者支援						
	子どもの成長発達を保護者と共有する保育参観や個人面談等を設けて、相互理解を図っている						
記録・専門機関との連携	クラスの指導計画を基に個別指導計画を作成している						
	一人一人に応じた教育・保育を展開するために、家庭や専門機関と連携した支援のための個別計画を作成している						
	個別の記録を作成している						
	記録を基に、どのような場面で子どもが困っているのかを検討し、必要に応じて専門機関（こども支援センターげんき発達支援係・地域の保健センター等）の助言を受けている						
生活や遊びの中で子どもに過敏な状況（音・におい・触覚・味覚等）がみられた場合には、無理にさせようとせず、専門機関の助言を受けて対応方法を検討している							

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P54、55




## 保育を振り返ってみよう！ ～発達に配慮を要する子どもの支援～

A…理解して十分に取り組んでいる    C…理解が不足し十分に取り組んでいない  
B…概ね取り組んでいる                  D…取り組めていない

	A	B	C	D
一人一人に 応じた 関わり				
してほしくない行動があった場合には「机に座ってはいけない」ではなく「机から降りて椅子に座ろうね」と望ましい行動を肯定的な言葉を使って知らせている				
子どもを別の場所に移動させる場合には、必ず言葉をかけてから誘導している				
言葉をかける時には、身振りも加え伝わりやすいよう工夫している				
イメージを共有したり想像したりすることが苦手な子どもには、具体的な言葉をかけていくことで理解を高め「運動会にお母さんたち来てくれて楽しかったね。〇〇組は何をがんばったのかな？」等と、やり取りを繰り返すことで具体的に思いだせる工夫をしている				
子ども自身が見通しをもてるよう、一日の流れを絵カードや文字で事前に知らせて安心できるようにしている				
朝の支度等毎日行うことは手順を変えず行えるようにしている。やむを得ず手順の変更等がある場合には、子どもの理解の状態に合わせて絵カード等を使用し分りやすく知らせている				
身体的な援助を必要とする子どもに対して、必要以上に椅子に座らせておくようなことはしていない				

**参考** → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P54

 気づいたことをメモしておこう！




# 保育を振り返ってみよう!

## ～0・1・2歳児の保育編～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない  
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日	年	月	日	A	B	C	D
0 ・ 1 ・ 2 歳 児	子どもの成育歴や心身の発達等を考慮して、主に担当する保育者を決めている						
	子どもの生理的欲求（食べる・眠る・排泄）には主に担当する保育者が優先して対応している						
	子どもに関わる時は、その子どもに事前に言葉がけをしている（突然鼻を拭いたり、抱き上げたりしていない等 但し、緊急時を除く）						
	子どもを抱く時は後ろや横から不意に抱かず、必ず顔を見て抱いている						
	おむつ交換は声をかけ、スキンシップを大切にしながら行っている						
	着替えを援助する時は、無理やり脱がしたり着せたりしていない						
	子どものやる気を見守りながら、できない部分を援助している						
	「あとで」と言って子どもを待たせず、出来るだけその場で対応しようとしている						
	生活や遊びの中で、子どもが選択できるような問いかけをしている						
	子どもは困った時や不安になった時に担当保育者を探したり側へ行ったりしている						
子どもは大人の顔色を伺うことなく感じたことや要求を表現している							

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P25～32

 気づいたことをメモしておこう!




# 保育を振り返ってみよう!

## ～小学校等との連携編～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない  
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日	年	月	日	A	B	C	D
幼 保 小 連 携 活 動	ブロック会議に参加し、地域の小学校や教育・保育施設の現状を知ったり、課題の共有をしたりしている						
	小学校との職員交流研修を実施している						
	小学校と子ども同士の交流活動（体験給食・体験授業・行事参観等）を実施している						
	地域の幼稚園・認定こども園・保育園・認証保育所との交流活動を実施している						
	地域の小学校の学校公開や教育・保育施設の公開保育に、施設長や職員が参加している						
	就学時健康診断の意味や具体的な内容を必要に応じて保護者に伝えている						
	0・1歳児からの教育・保育の積み重ねが5歳児の姿となり、小学校就学への滑らかな移行につながることを全職員が理解している						

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P51、52

 気づいたことをメモしておこう!




# 保育を振り返ってみよう!

## ～家庭との連携編～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない  
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日	年	月	日	A	B	C	D
家庭への発信	早寝早起き、朝食を食べる等の生活リズムを整えるとともに、1日3食野菜を食べる等望ましい食習慣の大切さを伝えている						
	健康管理や感染症予防（予防接種・手洗い・登園許可証等）の重要性を知らせている						
	むし歯予防には規則正しい食生活と仕上げみがきが必要であることを伝えている						
	歯科健診結果を把握し、治療や相談が必要な子どもには受診勧奨をしている						
	家庭では災害や侵入者から子どもを守るため、一人にしないことの大切さを伝えている						
	日頃から家庭でも危機管理意識をもち、地震等の災害・侵入者・誘拐・交通安全等について子どもと話をするように伝えている						
感染症発生時には、施設内に必要な情報を提示する等して保護者に伝達している							

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P45、49、50

 気づいたことをメモしておこう!




# 保育を振り返ってみよう!

## ～3歳児以上の保育編～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない  
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日	年	月	日	A	B	C	D
3歳児以上	子ども一人一人の思いを受け止め、共感したり認めたりしながら信頼関係を築いている						
	子どもに関わる時には、事前に言葉がけをしている						
	子どもが不安になったり困っていたりした時は、安心できる言葉がけや援助をしている						
	排泄の援助は個人差に配慮し、一人一人に合わせた対応をしている						
	衣服の着脱の援助は、一人一人の発達に応じてわかりやすい指導をしている						
	「あとで」と言って子どもを待たせず、出来るだけその場で対応しようとしている						
	社会的ルールを子どもが理解できるように導き、間違いに気付くように援助している						
子ども同士が互いの気持ちや発言を受け入れられるように援助している							

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P25～32

 気づいたことをメモしておこう!



# 保育を振り返ってみよう！

## ～乳児(0歳児)の保育編～



A…理解して十分に取り組んでいる    C…理解が不足し十分に取り組んでいない  
 B…概ね取り組んでいる    D…取り組めていない

	A	B	C	D
健やかに伸び伸びと育つ				
はいはい、つかまり立ち、つたい歩き、歩行等の運動を促し、その動きや遊びがゆったりと楽しめるように、安全で十分に遊べる場を工夫している				
握る、いじる、つまむ等、指先を使って遊ぶ楽しさが味わえるように、様々な素材や玩具を用意している				
子どもが興味・関心を満たす探索行動ができるように、安全で清潔な玩具や日用品等を用意し、自由に触れ、十分に遊べるようにしている				
身近な人と気持ちに通じ合う				
保育者との信頼関係が構築できるように、一人一人の子どもの遊びにつき合ったり、触れ合い遊びをしたり、絵本を読み聞かせたりする等を通して、保育者との関わりが楽しめるようにしている				
一人一人の子どもの要求の表し方や情緒面を理解し、イライラや不安が長引かないように優しく言葉をかけたり、期待感に応えたりしている				
友達の使っている物に興味をもつ姿を受け止め、他の玩具を用意したり違う遊びに誘ったりする等、気分を変えて嫌な気持ちが長引かないようにしている				
喃語やいろいろな声を出して話しかける姿を丁寧に受け止め、子どもの声を真似する等、保育者とのやりとりを楽しめるようにしている				
「うれしいね」「気持ちいいね」等、顔を見ながら情緒的な言葉をかけて、子どもとの信頼関係が築けるようにしている				

記入日                      年                      月                      日

	A	B	C	D
危機管理				
緊急時にも対応できる職員体制が整っており、役割分担が決まっている				
避難訓練や消火訓練を実施している				
心肺蘇生法・気道内異物除去法・AEDの使用方法・応急処置についての知識がある				
保護者にも緊急時の避難方法や避難場所を知らせている				
体の状態・情緒面・行動・養育の状態等について普段からきめ細かく観察し、虐待の事実または疑われる場合は速やかに対応している				
小さなケガであっても状況を把握し、保護者に報告している				
個人情報 は鍵のかかる場所に保管するなど適切に管理し、おやみに持ち出していない				
安全教育				
子どもが危険な場所や災害時の行動の仕方が分かり、安全に配慮して行動できるよう計画的に教育・保育を実施している				
子どもの発達に応じて、遊具や用具の正しい使い方、危険な遊び方、場所を知らせている				
交通安全の習慣を身に付けるよう援助している				

(4) 教育・保育

**参考** → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P 3 3

**参考** → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P 4 8～4 9

気づいたことをメモしておこう！

3つの視点で考える

気づいたことをメモしておこう！



(4) 教育・保育



# 保育を振り返ってみよう！

## ～安全・危機管理編～



A…理解して十分に取り組んでいる    C…理解が不足し十分に取り組んでいない  
 B…概ね取り組んでいる    D…取り組めていない

	A	B	C	D
安全 確保	事故・地震・火災・水害等に対応するマニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応できるよう訓練している			
	事故報告やヒヤリハット報告を行い、職員で情報を共有して再発防止に努めている			
	施設内外や園外保育先の安全点検を実施してから子どもを遊ばせている			
	保育室内外は禁煙を厳守している			
	保育者間で子どもに関する情報交換（子どものアレルギー・健康状態等）を行っている			
	非常口近辺に物等は置かず、避難口や避難経路の確保ができています			
	口に入れると窒息の可能性のある大きさの玩具や物は乳児の保育室に置いていない			
	プール活動や水遊び時は専任の監視者とプール指導者に分かれて職員の配置があり、エリア全域をくまなく監視している			

記入日                      年                      月                      日

	A	B	C	D
身近な もの と 関わり 感性が 育つ	やりたいことや遊びたいことが十分にできるようにし、子どもの満足感や得意な気持ちを受け止めるようにしている			
	見る、聞く、打ち付ける、つかむ、引っ張る等を満足できるまで楽しめるように、様々な玩具を用意し、一人一人の子どもの興味や発達に合わせて遊べるようにしている			
	身の回りの自然・電車・バス・犬・猫等に興味をもてるように、保育者が感じたままを言葉に出したり微笑み返したり等、様々な感覚が引き出されるようにしている			
	リズムに合わせて体を動かす、なぐり描きをする等の表現することの面白さを感じたり、絵本の楽しさを感じたりできるようにしている			

**参考** → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P48、50

**参考** → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P33

**Point** 3つの視点で考える

気づいたことをメモしておこう！

気づいたことをメモしておこう！




# 保育を振り返ってみよう！ ～1歳児の保育編～

A…理解して十分に取り組んでいる    C…理解が不足し十分に取り組んでいない  
B…概ね取り組んでいる    D…取り組めていない

	A	B	C	D
健康	歩く、走る、よじ登る、方向転換をする等の様々な動きを引き出し、体を動かす楽しさを感じられるようにしている			
	必要に応じて手伝いながら、手洗いや衣服の着脱等を自分でしようとする気持ちを大切にしている			
人間関係	一人一人の子どもの排尿間隔を把握し、おしっこが出ると教えたり、徐々に便器で排泄したりする経験が重ねられるようにしている			
	甘えたい、依存したい気持ちを十分受け止め、安心できる保育者との関係の中で十分に探索活動ができるようにしている			
	一人一人の子どもの要求の表し方や情緒面を理解し、一人で安心して遊ぶ気持ちや他の子どもへの関心がもてるようにしている			
環境	友達の使っている物に興味をもつ姿を受け止め、思いを汲み取りながら、友達と一緒にいることや同じ物を各々が使って遊ぶことに喜びを感じられるようにしている			
	ままごと・絵本・粘土・積み木等、遊びへの興味や関心が広がるように、自分のやりたいことを一人でじっくり満足できるまで遊べる時間や場をもてるようにしている			
	人形・ブロック・絵本等を子どもが自分で出して遊べるように、遊びたい物がすぐに見つかる置き場所の工夫をしている			
	身の回りの自然・電車・バス・犬・猫等に興味をもてるように、外遊びや散歩等の際に見たり触れたりする機会を大切に、周囲のことに対して好奇心がもてるようにしている			

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P 3 4

 気づいたことをメモしておこう！

 5領域で考える




# 保育を振り返ってみよう！～健康教育編～

記入日                      年                      月                      日

	A	B	C	D
健康教育	子どもの発達や年齢に合わせて、手洗いの介助や指導をしている			
	2歳 身の回りを清潔で安全なものにするなどの生活に必要な習慣の形成に向けて、子どもの自分でやりたいという気持ちを受け入れ、子どものペースに合わせた援助をしている			
	3・4歳児 生活に必要な習慣の自立に向けて、子ども自身が必要性を感じ、自ら行動できるように場所や環境を整えている			
	5歳 社会の情報を取り入れたり、視覚に訴えるよう提示方法を工夫したりして、子ども自身が健康に関心を持ち、病気の予防に必要な活動をすすんで行うように配慮している			
	家庭や地域との連携を図りながら子どもの健康増進に取り組んでいる			

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P 4 5～5 0

 気づいたことをメモしておこう！

